

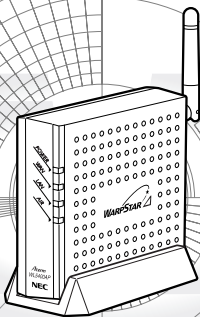


Aterm® WL5400AP



無線 LAN ご利用ガイド

このたびは、「Aterm WL5400AP」をお選びいただきありがとうございます。ご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。



「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

『^{エーターム}Aterm WL5400AP』は、有線 LAN に接続して IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g 対応の無線 LAN のアクセスポイントとして使用することができます。
ご利用いただける無線 LAN 端末（子機）の最新情報は、別紙に記載のホームページなどをご確認ください。



お知らせ

•本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
Aterm WL5400AP (WARPSTAR ベース)	WL5400AP (親機) または無線 LAN アクセスポイント (親機)
Aterm WL54AG/WL54AG (S) /WL54AG-SD (WARPSTAR サテライト)	WL54AG (無線 LAN カード) または無線 LAN 端末 (子機)

- Aterm® は、日本電気株式会社の登録商標です。
- Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Mac、Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- AirMac は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Netscape® は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
- "PlayStation®" は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。
- JavaScript® は米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。
- Linux® は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Atheros™、ABG、Super AG 及び Total 802.11 のロゴは Atheros Communications, Inc. の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
- その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2003、2004、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2003、2004
日本電気株式会社、NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

目次

目次	2
ソフトウェアのご使用条件	3
安全に正しくお使いいただくために	7
1 はじめにお読みください	1-1
1-1 本商品でできること	1-2
1-2 添付品を確認する	1-3
1-3 各部の名前とはたらき	1-4
1-4 あらかじめ確認してください	1-6
2 設置・接続	2-1
2-1 設置する	2-2
2-2 接続する	2-3
3 設定する	3-1
3-1 設定手順	3-2
3-2 パソコンのIPアドレスを確認する	3-3
3-3 本商品を設定する	3-9
3-4 無線のセキュリティ対策をする	3-19
3-5 クイック設定 Web の設定画面について	3-28
4 無線 LAN 端末（子機）の設定をする	4-1
4-1 無線 LAN 端末（子機）からの通信を確立する	4-2
4-2 WL54AG（無線 LAN カード）の設定をする場合<サテライトマネージャ>	4-12
5 お困りのときには	5-1
5-1 トラブルシューティング	5-2
5-2 初期化する	5-11
6 付録	6-1
6-1 製品仕様	6-2

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
- (2) お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により行った場合に限り、お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものと（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限り、これを）をもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「この CD-ROM について」(HTML ファイル)をよくお読みください。

- ① 無線 LAN カードの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
- ② WL54TE (Ethernet ボックス) の無線 LAN のセキュリティ設定を行う「Ethernet ボックスマネージャ」(Windows® 版)
- ③ 無線 LAN カード用のドライバー式 (Windows® 版)

(使用上のご注意)

Windows® XP/2000 Professional/Me でご利用の方

- ・ 「この CD-ROM について」(HTML ファイル) が自動起動しない場合には、以下の操作を行います。
 - ① Windows® の [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥index.html と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥index.html)また、パソコンにより異なりますが、画面を自動起動しないようにするには、「SHIFT」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
- ・ [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。
 - ① Windows® の [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥util¥setup.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥util¥setup.exe)
- ・ CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「この CD-ROM について」(HTML ファイル) を閉じた後に行ってください。
- ・ Windows® XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、Ethernet ボックスマネージャのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

CD-ROMの動作環境

● Windows® 動作環境

- ・ Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること

● 推奨環境

ハードディスクの空き容量：30MB 以上を推奨

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

メモリ 32MB 以上

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたカラーモニタ



お知らせ

● 表示画面

・ サイズ：800 × 600 ピクセル以上

・ 色：High-Color 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。




- [このCD-ROM について] (HTML ファイル) と「サテライトマネージャ」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

・ Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

警告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタ(電源プラグ)を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタ(電源プラグ)は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタ(電源プラグ)は必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタ(電源プラグ)は他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタ(電源プラグ)に物をのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付のACアダプタ(電源プラグ)は日本国内用AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

警 告

こんなときには

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などがいった場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- めれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

注 意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける

注意

- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

電源

- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ（電源プラグ）を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本体の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。
- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドおよび無線 LAN ご利用ガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで180m程度（IEEE802.11a 通信時は90m程度）です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。
また、親機との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

STOP お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 本体の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。

無線 LAN に関する注意

- 無線 LAN 接続は、通信速度が ETHERNET ポートに接続した場合と比べ遅くなることがあります。
- 無線 LAN の速度は、規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

その他注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意 (お客様の権利 (プライバシー保護) に関する重要な事項です！)

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁等) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す (情報漏洩) 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す (なりすまし) 傍受した通信内容を書き換えて発信する (改ざん) コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する (破壊) 等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定がほどこされていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定等について、ご不明な点があれば、別紙に示すお問い合わせ先までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

- IEEE802.11a 通信利用時は 5.2GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
この周波数は、2.4GHz 帯使用の IEEE802.11b/Bluetooth 等の機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OF-DM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す

DS/OF : DS-SS 方式及び OF-DM 方式を示す

4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。



1

はじめにお読みください

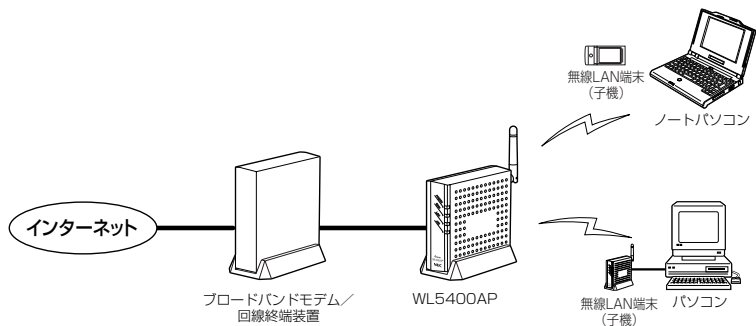
1

本商品を設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

- 1-1 本商品でできること……………1-2
- 1-2 添付品を確認する……………1-3
- 1-3 各部の名前とはたらき……………1-4
- 1-4 あらかじめ確認してください……………1-6

1-1 本商品でできること

本商品は有線 LAN に接続して IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g 対応の無線 LAN のアクセスポイントとして使用することができます。



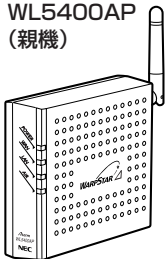
- ご利用いただける無線 LAN 端末（子機）についての最新情報は、別紙に記載のホームページをご確認ください。

1-2 添付品を確認する

設置を始める前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

●添付品

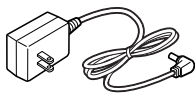
- WL5400AP
(親機)



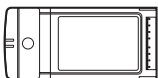
- 縦置きスタンド



- ACアダプタ



- WL54AG
(ワイヤレスセットの場合のみ)



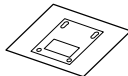
- 壁掛け用ネジ (2本)



- ETHERNET ケーブル
(ストレート)



- 壁掛け用台紙



- つなぎかたガイド (別紙)

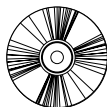
- 無線LANご利用ガイド (本書)



- 横置き用ゴム足 (4個)



- CD-ROM (ユーティリティ集)

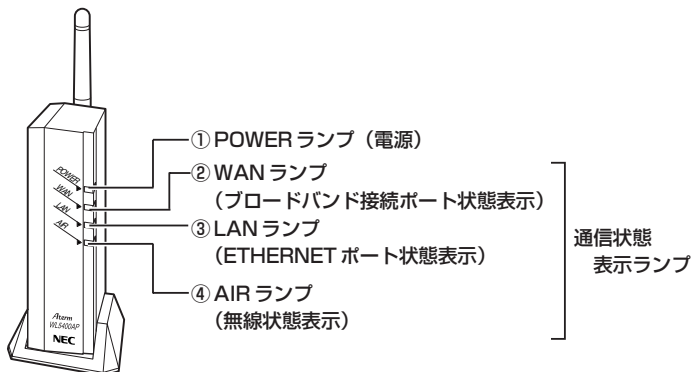


1

はじめにお読みください

1-3 各部の名前とはたらき

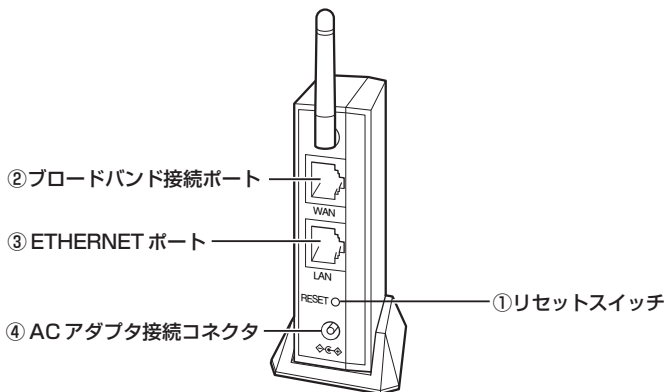
前面図



【ランプ表示】

ランプの種類	点灯状態	状態
① POWER (電源)	緑 点灯	電源が入っているとき
	消灯	電源が入っていないとき
② WAN (ブロードバンド接続 ポート状態表示)	緑 点灯	ブロードバンド接続ポートのリンクが100Mbps 確立しているとき
	点滅	ブロードバンド接続ポートでデータ送受信中 (リンク速度100Mbps)
	橙 点灯	ブロードバンド接続ポートのリンクが10Mbps 確立しているとき
	点滅	ブロードバンド接続ポートでデータ送受信中 (リンク速度10Mbps)
	消灯	ブロードバンド接続ポートのリンクが確立していないとき
③ LAN (ETHERNET ポート 状態表示)	緑 点灯	ETHERNET ポート (LAN) のリンクが100Mbps 確立しているとき
	点滅	ETHERNET ポート (LAN) でデータ送受信中 (リンク速度100Mbps)
	橙 点灯	ETHERNET ポート (LAN) のリンクが10Mbps 確立しているとき
	点滅	ETHERNET ポート (LAN) でデータ送受信中 (リンク速度10Mbps)
	消灯	ETHERNET ポート (LAN) のリンクが確立していないとき
④ AIR (無線状態表示)	緑 遅い点滅	IEEE802.11b + g モード、IEEE802.11g モードに設定しているとき
	速い点滅	IEEE802.11b + g モード、IEEE802.11g モードで無線データ送受信中
	橙 遅い点滅	IEEE802.11a モードに設定しているとき
	速い点滅	IEEE802.11a モードで無線データ送受信中
	点灯	ファームウェアをバージョンアップしているとき (●P3-33) リセットスイッチを押しているとき (●P5-11)

背面図



1

はじめにお読みください

名 称	説 明
① リセットスイッチ (RESET)	初期化するときに使用します。(●P5-11)
② ブロードバンド接続ポート (WAN)	ブロードバンドモデム/回線終端装置との接続に使用します。
③ ETHERNET ポート (LAN) (100BASE-TX/10BASE-T)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。
④ AC アダプタ接続コネクタ	添付の AC アダプタを接続します。

1-4 あらかじめ確認してください

パソコンなどの接続機器の確認

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- ・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること (●P1-8)
- ・ ファイアウォールソフトの停止
本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止しない(起動したまま)と無線LANアクセスポイント(親機)の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがあらかじめインストールされている場合があります。)停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。
- ・ イーサネットETHERNET ポート (LAN ポート) を装備していること
お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX / 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- ・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- ・ パソコンの IP アドレスを確認すること (●P3-3)
- ・ ゲーム機などでゲームを使用するときは
本商品はゲーム機に接続して設定することができます。(●P3-15)
本商品と接続機器の間に HUB などを接続しないでください。

WWW ブラウザのバージョンを確認する

本商品は、以下の WWW ブラウザで設定できます。

<設定できる WWW ブラウザ>

Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98 の場合

Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5 以上に対応

Netscape® 6.1 以上に対応

Mac OS X/9.2/9.1/8.6 の場合

Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0 以上に対応

Netscape® 6.01 以上に対応

“PlayStation® 2” 用ブラウザ [PlayStation BB Navigator]

※指定以外のブラウザを使用する場合、表示・設定で正しく動作しない場合があります。
正しくご利用いただくためには指定のブラウザでご使用ください。

1

はじめにお読みください

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer 等）の接続設定を「ダイヤルアップしない」に変更します。

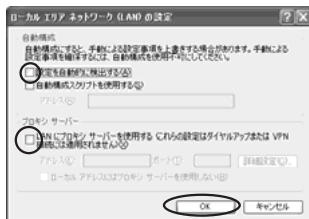
以下は Windows® XP/2000 Professional/Me で Internet Explorer Ver.6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ① Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択します。
- ③ [接続] タブをクリックします。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択してください。



- ⑤ [LAN の設定] をクリックします。
- ⑥ 「設定を自動的に検出する」と [LAN にプロキシサーバーを使用する] の を外して、[OK] をクリックします。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- ⑦ [OK] をクリックします。

JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザで設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しくできないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

■ Internet Explorer の場合

Windows® XP で Internet Explorer をご利用の場合

以下は Windows® XP で Internet Explorer Ver.6.0 を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional/Me/98 で設定する場合や、Internet Explorer Ver.5.5 以上を使用している場合にも下記と同じ手順で設定できます。

1 [スタート] - [コントロールパネル] - [クラシック表示に切り替える] - [インターネットオプション] をダブルクリックする

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

3 [サイト] をクリックする

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す

5 [次の Web サイトをゾーンに追加する] に [http://192.168.0.204/] を入力し、[追加] をクリックする

※本商品の IP アドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを入力してください。(装置 IP アドレスの設定方法 ●P3-31)

※本商品の IP アドレスは、DHCP サーバのあるネットワークに接続されている場合、変更になる場合があります。その場合は本商品の IP アドレスを固定にすることを勧めます。(●P3-31)

6 [OK] をクリックする



7 [レベルのカスタマイズ] をクリックし、下向き▼（矢印）をクリックし、画面をスクロールする

8 [アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



9 [OK] をクリックする

Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Mac OS で Internet Explorer Ver.5.1 を使用している場合の例です。
 なお、Internet Explorer Ver.5.1 以上を使用している場合も下記と同じ手順で設定できます。

- 1 インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの [Explorer] から [環境設定] をクリックする
- 2 [Web ブラウザ] から [セキュリティゾーン] をクリックする
- 3 [ゾーン] から [信頼済みサイトゾーン] をクリックする
- 4 [サイトの追加] をクリックする



- 5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする]のチェックを外す

[追加] をクリックする

- 7 [http://192.168.0.204/] と入力する

※本商品の IP アドレスを変更した場合は、変更後のアドレスを入力してください。(装置 IP アドレスの設定方法 ●P3-31)

※本商品の IP アドレスは、DHCP サーバのあるネットワークに接続されている場合、変更になる場合があります。その場合は本商品の IP アドレスを固定にすることを勧めします。(●P3-31)

- 8 [OK] をクリックする

- 9 [Web ブラウザ] から [Web コンテンツ] をクリックする

- 10 [アクティブコンテンツ] で、[スクリプトを有効にする] にチェックを入れる

1

はじめにお読みください

(次ページに続く)

11 [OK] をクリックし、メニューバーの[Explorer]から[Explorer 終了]をクリックする

※アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。

※セキュリティレベルを「高」に設定している場合、またはカスタム設定で [スクリプト] の [スクリプトの実行] を「無効」に設定している場合には、同現象が発生します。設定時にセキュリティレベルを「低」に変更していただくかカスタム設定の [スクリプトの実行] を「有効」に設定してください。

■ Netscape の場合

Windows® XPでNetscape®をご利用の場合

以下はWindows® XPでNetscape® 7.1を使用している場合の例です。
 なお、Windows® 2000 Professional/Meで設定する場合や、Netscape® 7.0以上を使用している場合にも下記と同じ手順で設定できます。

- 1 Netscape を起動する
- 2 メニューバーから [編集] - [設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] をクリックする
- 4 [Javascript を有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる
- 5 [OK] をクリックする



1

はじめにお読みください

Mac OS XでNetscape®をご利用の場合

以下は、Mac OSでNetscape® 7.1を使用している場合の例です。
なお、Mac OSでNetscape® 6.1以上を使用している場合も下記と同じ手順で設定できます。

- 1 Netscape®を起動する
- 2 メニューバーから [Netscape] - [環境設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] を選択する
- 4 [JavaScriptを有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックし、メニューバーの [Netscape] から [Netscapeを終了] をクリックする

※アプリケーションを一度終了させないと、設定は登録されません。



2

設置・接続



2

- 2-1 設置する2-2
- 2-2 接続する2-3

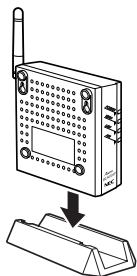
2-1 設置する

縦置きの場合

図のように縦置きスタンドを取り付けます。

設置の際は無線状態を最適にするため、アンテナが垂直になるように設置してください。

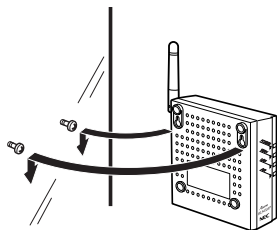
※縦置きスタンドと本体の向きを合わせてください。



壁掛けの場合

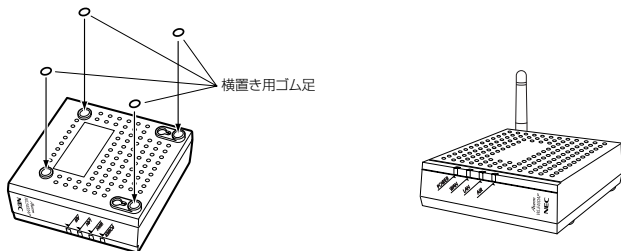
図のように壁に取り付けます。

※壁に取り付ける際は、あらかじめ壁掛け用台紙に合わせて添付のネジで取り付けてください。



横置きの場合

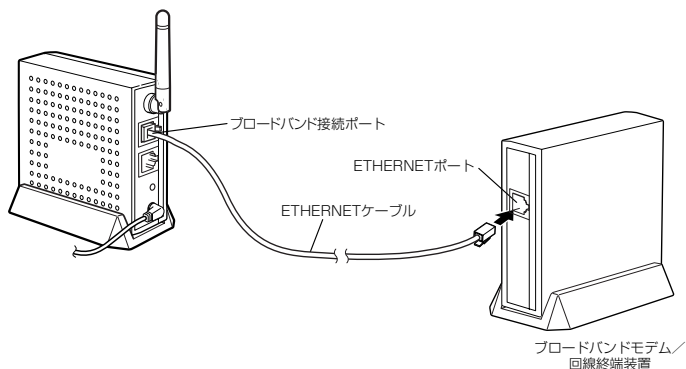
添付の横置き用のゴム足を取り付け、図のように設置します。



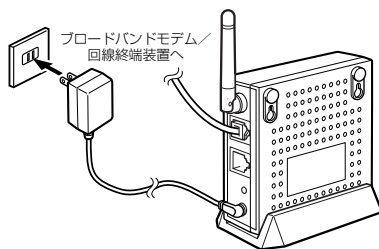
2-2 接続する

ブロードバンドモデム／回線終端装置と接続する

- 1 ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認する
- 2 本商品のブロードバンド接続ポートとブロードバンドモデム／回線終端装置のETHERNETポートをETHERNETケーブルで接続する



- 3 ACアダプタの電源ジャックを本商品に取り付ける
- 4 本商品のACアダプタを電源コンセントに接続する



(次ページに続く)

5

本商品の POWER ランプが緑点灯し、WAN ランプが緑または橙点灯することを確認する

※しばらくして AIR ランプが点滅します。(●P1-4 「1-3 各部の名前とはたらき」)



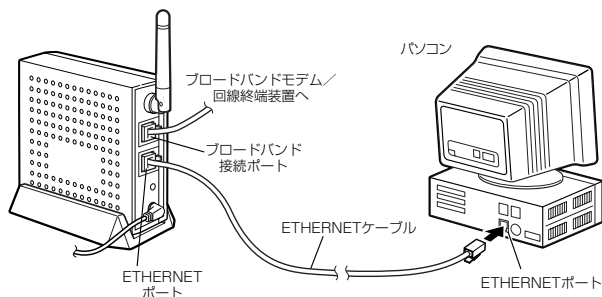
パソコンと接続する

本商品に有線でパソコンを接続する場合は、以下の手順で接続します。

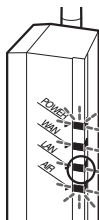
※本商品に無線でパソコンを接続する場合は、「4 無線 LAN 端末（子機）の設定をする」（●P4-1）を参照してください。

1 パソコンの電源を入れておく

2 本商品の ETHERNET ポートとパソコンの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで接続する



3 本商品の LAN ランプが緑または橙点灯することを確認する



2

設置・接続



3

設定する



3

- 3-1 設定手順3-2
- 3-2 パソコンのIPアドレスを確認する3-3
- 3-3 本商品を設定する3-9
- 3-4 無線のセキュリティ対策をする3-19
- 3-5 クイック設定 Web の設定画面について
.....3-28

3-1 設定手順

この章では、本商品を設定するときの手順を説明しています。

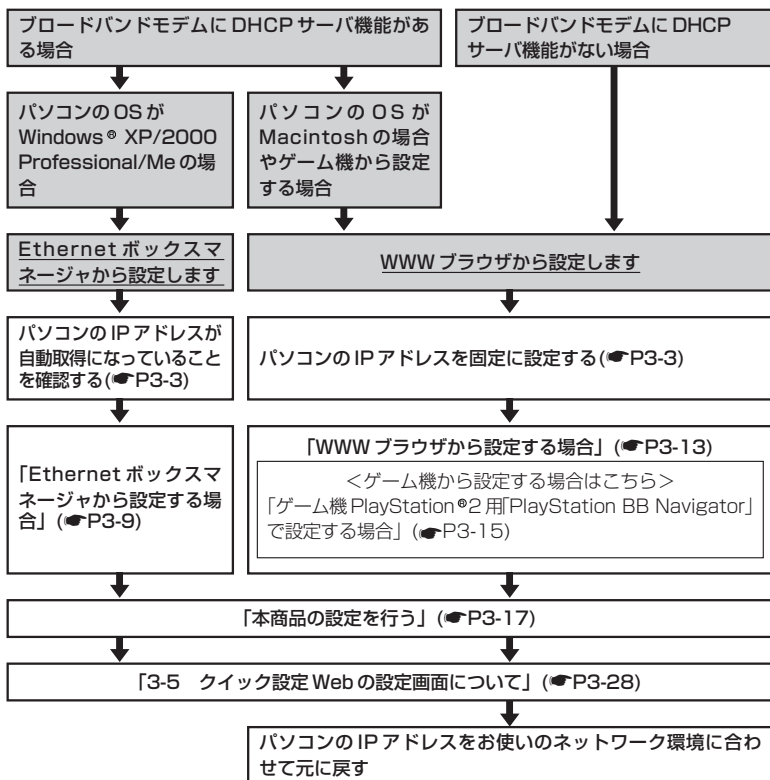
本商品は、すでに無線設定が行われた状態で出荷していますので、ここでの設定は必要ありません。ネットワーク名（ESS-ID）・暗号化キーの変更を行う場合や無線セキュリティの機能を追加する場合は、本章を参照して設定を行ってください。

また、本商品を初期化した場合は、無線設定が初期化されますのでここで再設定を行ってください。

なお、無線LAN 端末（子機）から無線で接続して本商品の設定を行う場合は、本商品との通信を確立してから（☛P4-2）、設定を行ってください。

接続するパソコンのOS や、本商品に接続するブロードバンドモデムのDHCP サーバ機能の有無によって、設定方法が異なります。下記の設定手順を参照して設定方法を確認してください。

（ゲーム機から設定する場合は、「ゲーム機 PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」で設定する場合」（☛P3-15）を参照してください。）



3-2 パソコンのIPアドレスを確認する

本商品を設定する前に、パソコンのIPアドレスを確認します。
Ethernet ボックスマネージャを使用して本商品を設定する場合は、本商品がDHCPサーバ機能を持ったブロードバンドモデムに接続されている必要があります。その場合のパソコンのIPアドレスは自動取得に設定します。
また、WWW ブラウザから本商品を設定する場合は、パソコンのIPアドレスの設定を固定にします。
なお、設定後は、使用するネットワーク体系にあわせてIPアドレス/ネットマスクの設定を行ってください。

Windows® XP の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

- 5 設定する環境にあわせて次のように設定する
■Ethernet ボックスマネージャから設定する場合

(IPアドレスを自動的に取得する)

- ① [IPアドレスを自動的に取得する] を選択する。
- ② [DNSサーバのアドレスを自動的に取得する] を選択する。
- ③ [OK] をクリックする。
- ④ [OK] または [閉じる] をクリックする。



「Ethernet ボックスマネージャをインストールする」(P-9) に進みます。

- WWW ブラウザから設定する場合
(IPアドレスを固定に設定する)

- ① [次のIPアドレスを使う] をクリックする。
- ② 次のように入力する。
IPアドレス：
192.168.0.XXX (XXXは2～199、211～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク：
255.255.255.0

- ③ [OK] をクリックする。
- ④ [OK] または [閉じる] をクリックする。

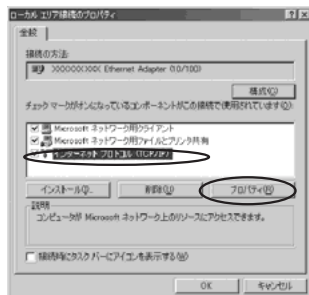


「WWW ブラウザから設定する場合」(P-13) に進みます。



Windows® 2000 Professional の場合

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] をダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



- 5 設定する環境にあわせて次のように設定する
- Ethernet ボックスマネージャから設定する場合 (IP アドレスを自動的に取得する)

- ① [IP アドレスを自動的に取得する] を選択する。
- ② [DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] を選択する。
- ③ [OK] をクリックする。
- ④ [OK] または [閉じる] をクリックする。



「Ethernet ボックスマネージャをインストールする」(P3-9) に進みます。

- WWW ブラウザから設定する場合 (IP アドレスを固定に設定する)

- ① [次の IP アドレスを使う] をクリックする。
- ② 次のように入力する。
IP アドレス：
192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 199、211 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス)

サブネットマスク：255.255.255.0

- ③ [OK] をクリックする。
- ④ [OK] または [閉じる] をクリックする。



「WWW ブラウザから設定する場合」(P3-13) に進みます。

Windows® Me/98SE/98 の場合

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする
- 3 リストの [TCP/IP ->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



- 4 設定する環境にあわせて次のように入力する
 - Ethernet ボックスマネージャから設定する場合 (IP アドレスを自動的に取得する)

① [IP アドレスを自動的に取得] をクリックする。

➡ 「Ethernet ボックスマネージャをインストールする」(☛P3-9) に進みます。

- WWW ブラウザから設定する場合 (IP アドレスを固定に設定する)

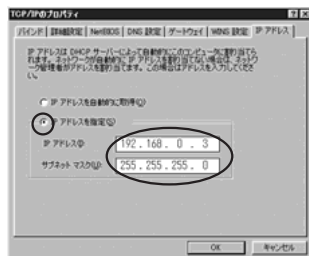
① [IP アドレスを指定] をクリックする。

② 次のように入力する。

IP アドレス :

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~
199, 211 ~ 254 の数字で同一ネット
ワーク内で使用していない IP アド
レス)

サブネットマスク : 255.255.255.0



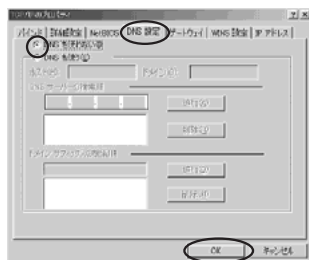
➡ 「WWW ブラウザから設定する場合」(☛P3-13) に進みます。

(次ページに続く)

- 5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



- 6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択して [OK] をクリックする



- 7 [OK] をクリックする

- 8 再起動の指示があった場合はパソコンを再起動する

Mac OS X の場合

以下は、Mac OS X 10.2 の例です。

1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する

2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[TCP/IP] タブをクリックする

3 次のように設定する

① [設定] を [手入力] にする。

② 次のように入力する。

IPアドレス：

192.168.0.XXX (XXXは2～

199、211～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク：255.255.255.0



4 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる



「WWW ブラウザから設定する場合」(P3-13) に進みます。

3

設定する

Mac OS 9.x/8.xの場合

1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く

2 [経由先] を [Ethernet] にする

3 次のように設定する

- ① [設定方法] を [手入力] にする。
- ② IPアドレスとサブネットマスクを次のように入力する。

IPアドレス：

192.168.0.XXX (XXXは2～199、211～254の数字で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)

サブネットマスク：255.255.255.0



4 確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする



「WWW ブラウザから設定する場合」(▶P3-13) に進みます。

ゲーム機 PlayStation® 2用「PlayStation BB Navigator」の場合

1 接続機器のネットワーク設定を行う

設定を行う機器のネットワーク設定画面を開き、以下のとおり設定を行ってください。

機器のIPアドレス：192.168.0.100

サブネットマスク：255.255.255.0

※DHCPから自動的にIPアドレスを取得せず、手動設定としてください。

※デフォルトゲートウェイ、DNSサーバなど、それ以外の設定は空欄のままにします。

3-3 本商品を設定する

本商品を設定する場合、ご使用の環境によって次の2通りの設定方法があります。
「3-1 設定手順」(☛P3-2)にて確認した設定方法で設定してください。

- ・ Ethernet ボックスマネージャから設定する場合(☛ 下記参照)
- ・ WWW ブラウザから設定する場合(☛P3-13)

※ゲーム機で設定する場合は、「ゲーム機 PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」で設定する場合」(☛P3-15)を参照してください。

Ethernet ボックスマネージャから設定する場合

Ethernet ボックスマネージャをご使用になるには、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていること(☛P3-3)と、本商品に接続するブロードバンドモデムが DHCP サーバ機能を持っていることが必要です。

Ethernet ボックスマネージャをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「Ethernet ボックスマネージャ」をパソコンにインストールします。設定は本商品に接続したパソコンから行います。

1 Windows®を起動する

2 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする
「この CD-ROM について」の HTML ファイルが自動的に表示されます。
表示されないときは P5 を参照してください。

3 内容を確認して **X** または **閉じる** をクリックする

※CD-ROM のバージョンにより画面デザインが異なる場合があります。この場合は、画面の指示に従いユーティリティのセットアップを起動してください。



(次ページに続く)

4 「Aterm WARPSTAR ユーティリティ」画面で[次へ]をクリックする
「Aterm WARPSTAR ユーティリティ」画面が表示されないときは P5 を参照してください。



5 [次へ] をクリックする



6 画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする



7 使用する無線 LAN 端末（子機）を選択する

※無線 LAN を利用しない場合は、「WL54TE」を選択してください。

※「WL54AG」を選択した場合は、「らくらく無線スタートで無線 LAN 設定を行う」のチェックを必ず外してください。

※使用する無線 LAN 端末（子機）が「WL54AG」・「WL54TE」以外の場合は、「WL54TE」を選択してください。



8 [次へ] をクリックする

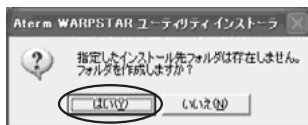


9 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ]をクリックする

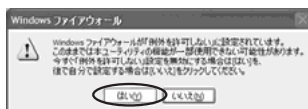
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



10 [はい] をクリックする インストールが開始されます。



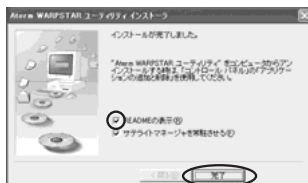
11 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする



12 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする



13 [READMEの表示] にチェックが入っている (☑) ことを確認し、[完了] をクリックする



14 READMEをよく読み、[README] 画面を閉じる

➡ 「クイック設定 Web を起動する」(☛P3-12) に進みます。

クイック設定 Web を起動する

Ethernet ボックスマネージャを使用して本商品を設定する場合は、以下の手順でクイック設定 Web を起動します。

なお、Ethernet ボックスマネージャをご使用になるには、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていること(●P3-3)と、本商品に接続するブロードバンドモデムが DHCP サーバ機能を持っていることが必要です。

※無線 LAN 端末(子機)から本商品に無線接続して本商品を設定する場合は、あらかじめ本商品との無線通信が確立していることを確認してください。(●P4-2)

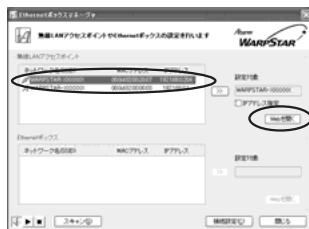
1 Ethernet ボックスマネージャを起動する

[スタート]ー[すべてのプログラム]ー
[Aterm WARPSTAR ユーティリティ]ー
[Ethernet ボックスマネージャ]をクリック
します。



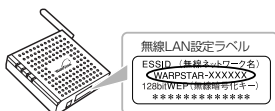
※音声ガイドが流れた場合は、画面左下の ■ をクリックして音声を停止させてください。

2 「無線 LAN アクセスポイント」の欄で、接続する無線 LAN アクセスポイント(親機)を選択し、[Webを開く]をクリックする



※無線 LAN アクセスポイント(親機)の工場出荷時のネットワーク名は、装置底面の「無線 LAN 設定ラベル」に記載されています。

※無線 LAN アクセスポイント(親機)の MAC アドレスは、装置側面に記載されています。



➡ 「本商品の設定を行う」(●P3-17)の手順2に進みます。

WWW ブラウザから設定する場合

クイック設定 Web を起動する

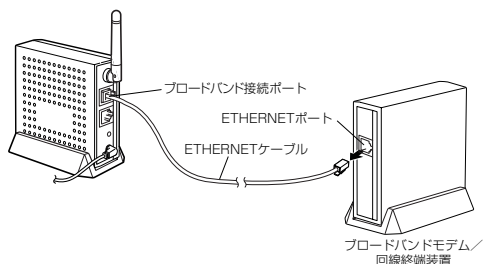
WWW ブラウザから本商品を設定する場合は、以下の手順でクイック設定 Web を起動します。

※無線 LAN 端末（子機）から本商品に無線接続して本商品を設定する場合は、あらかじめ本商品との無線通信が確立していることを確認してください。（●P4-2）

※ゲーム機で設定する場合は、「ゲーム機 PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」で設定する場合」（●P3-15）を参照してください。

1 本商品に接続するブロードバンドモデムが DHCP サーバ機能を持っている場合は、クイック設定 Web を起動する前に、必ず下記の手順を行ってください

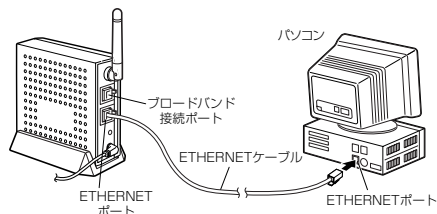
①本商品のブロードバンド接続ポートに接続しているブロードバンドモデムをいったん外す



②本商品の電源をいったん切って入れ直す

③本商品にパソコンを接続する

※あらかじめ接続済みの場合は接続し直す必要はありません。



（本商品の ETHERNET ポートにパソコンを接続する場合の例です。）

2 パソコンの IP アドレスが固定になっていることを確認する（●P3-3）

（次ページに続く）

3

WWW ブラウザを起動し、アドレスに本商品の IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.204 です）を入力して [Enter] キーを押す

例：http://192.168.0.204/

（ゲーム機の場合は http://192.168.0.204/nonpc_menu.html）

※本商品の IP アドレスを変更した場合はそのアドレスを入力してください。（装置 IP アドレスの設定方法 ●P3-31）



「本商品の設定を行う」（●P3-17）の手順 2 に進みます。

ゲーム機 PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」で設定する場合

本商品の設定は、Ethernet ボックスマネージャで簡単に行えます。Ethernet ボックスマネージャをお使いになれるパソコン (Windows®XP/2000 Professional/Me) をお持ちの場合は、いったん本商品にパソコンを接続して設定することをお勧めします (●P3-9)。

パソコンによる設定環境がない場合は、以下の方法で、ゲーム機 (PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」) から設定を行うことができます。

1 設定環境を確認する

本商品に接続して設定を行う機器には以下の条件が必要です。

- ・ETHERNET ポートが装備されていること
- ・TCP/IP による通信環境が装備されていること
- ・TCP/IP のネットワーク設定で、固定 IP アドレスの設定が可能であること
- ・本商品のクイック設定 Web を開くことができる WWW ブラウザ機能 (PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」) が用意されていること
- ・WWW ブラウザソフトの画面を表示できる出力 (テレビ出力など) が装備されていること

2 本商品とゲーム機を接続する

本商品の ETHERNET ポートと、接続機器の ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブルで直接接続します。

- ・本商品と接続機器の間に HUB などを接続しないでください。
- ・設定が完了するまでブロードバンド接続ポートにブロードバンドモデム等を接続しないでください。

3 接続機器のネットワーク設定を行う

設定を行う機器のネットワーク設定画面を開き、以下のとおり設定を行ってください。

機器の IP アドレス：192.168.0.100

サブネットマスク：255.255.255.0

※ DHCP から自動的に IP アドレスを取得せず、手動設定としてください。

※ デフォルトゲートウェイ、DNS サーバなど、それ以外の設定は空欄のままにします。

4 本商品のクイック設定 Web を開く

・次のアドレスを入力します。

http://192.168.0.204/nonpc_menu.html

❓ クイック設定 Web を開けない場合は...

「サーバが見つかりません」等のエラーメッセージが出てクイック設定 Web を開けない場合は、本商品が DHCP サーバの存在するネットワークに接続されていて、本商品の IP アドレスが書き換わってしまっている可能性があります。

この場合は、ネットワーク内の DHCP サーバ（ルータ、ADSL モデムなど）の電源を切り、本商品を再起動したうえで、上記操作を行ってください。

DHCP サーバが存在しない状態で、本商品を再起動すれば、本商品の IP アドレスは、工場出荷時の設定（192.168.0.204）に戻ります。

5 必要な設定を行う

P3-17の手順2以降を参照して、必要な無線 LAN の設定を行ってください。

❗ ご注意

必要なすべての設定が完了するまで、DHCP サーバ（ルータ、ADSL モデムなど）の電源を入れないでください。設定途中で DHCP サーバ（ルータ、ADSL モデムなど）の電源を入れると、再度ネットワーク内の DHCP サーバ（ルータ、ADSL モデムなど）から IP アドレスを取得してしまい、設定画面に戻ることができなくなります。

6 本商品を再起動する

すべての設定が終わったら、本商品を再起動します。

7 無線 LAN の通信を確認する

❗ 重要

本商品の設定を終了したあとは、ゲーム機の IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

本商品の設定を行う

WWWブラウザでクイック設定Webを起動し、本商品の設定を行います。ここでは、無線LANの基本設定について説明しています。その他の設定を変更する場合は、「3-5 クイック設定Webの設定画面について」(●P3-28)を参照してください。

なお、お使いのWWWブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

1 クイック設定Webを起動する

※ Ethernet ボックスマネージャから起動する場合(●P3-12)

※ WWW ブラウザから起動する場合(●P3-13)

2 ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードは空欄のまま [OK] をクリックする

(「admin」は、半角小文字で入力してください。)

※ユーザー名(管理者ID)とパスワードは変更できます。初期状態ではパスワードは設定されていないため、あとで必ず設定してください。(●P3-32)



WWWブラウザの設定画面が表示されないときは(●P5-2)

3 [無線LAN基本設定] をクリックする

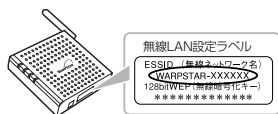


(次ページに続く)

4 【ESS-ID】に無線ネットワーク内で使用するネットワーク名を入力する

使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名を確認しておいてください。

※ 工場出荷時のネットワーク名は、「無線 LAN 設定ラベル」（本商品底面に貼付のラベル）に設定済みになっています。ただし、初期化した場合 XXXXXX は本商品側面のラベルに記載されている MAC アドレス下 6 桁に変わりますので、「無線 LAN 設定ラベル」のネットワーク名に書き換えてください。



5 【無線動作モード】で無線ネットワーク内で使用する無線動作モードを選択する

※ 工場出荷時または初期化した場合、無線動作モードは「802.11g+b」に設定されています。

無線動作モードの選び方

- 802.11a …… 電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。
- 802.11g …… 802.11aよりも広い範囲で高速な通信が可能です。
- 802.11g+b… 802.11bにしか対応していない無線LAN端末（子機）との混在環境での利用に適しています。

6 【使用チャンネル】で無線通信に使用するチャンネルを選択する

※ 工場出荷時または初期化した場合、使用チャンネルは「7」に設定されています。

7 【設定】をクリックする

8 【OK】をクリックする

9 【再起動】をクリックする

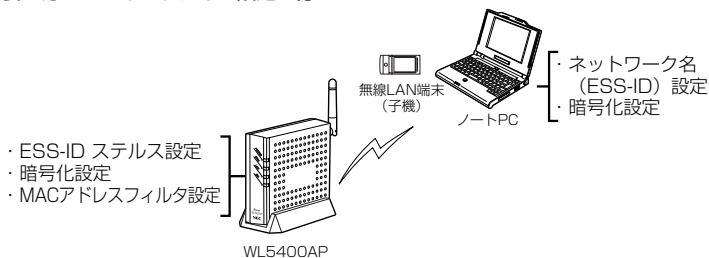


! 重要

本商品の設定を終了したあとは、パソコンの IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

3-4 無線のセキュリティ対策をする

本商品は、他の無線 LAN パソコンから本商品や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、ESS-ID ステルス機能、無線暗号化機能、MAC アドレスセキュリティ機能を搭載しています。無線 LAN 端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線 LAN 端末（子機）についてセキュリティの設定を行う必要があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。



? セキュリティ対策を行うことの重要性について

無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりますましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

ESS-ID ステルス機能：

本商品が第三者からのネットワーク名（ESS-ID）の参照に応答しないようにすることで、不正アクセスの対策を行います。

MAC アドレスセキュリティ機能：

特定の端末のみを本商品に登録することで、不正アクセスの対策を行います。

無線暗号化機能：

本商品と無線 LAN 端末（子機）との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することで、第三者による傍受や盗聴の対策を行います。

お願い

- 本商品側の設定を Macintosh パソコンから行う場合は、本商品の ETHERNET ポートに接続して設定してください。なお、WL54AG（無線 LAN カード）は Macintosh ではご使用になれません。

ESS-ID ステルス機能を設定する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（ESS-ID または SSID と呼びます）があります。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。

一般にネットワーク名は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※本商品独自の機能です。無線 LAN 端末（子機）側から本商品への接続は、サテライトマネージャをお使いください。

1 クイック設定 Web を起動する

※ Ethernet ポックスマネージャから起動します。（☛P3-12）

※ WWW ブラウザから起動します。（☛P3-13）

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

※管理者パスワードの初期値は空欄です。

※ユーザー名（管理者 ID）とパスワードは変更できます。（☛P3-32）

3 [無線 LAN 基本設定] をクリックする

4 [ESS-ID ステルス機能] で [使用する] を選択する



5 [設定] をクリックする



6 [OK] をクリックする

7 [再起動] をクリックする

3

設定する

MAC アドレスセキュリティ機能

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末（子機）から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。最大 20 個設定できます。

<クイック設定 Web で設定する>

1 クイック設定 Web を起動する

※ Ethernet ポックスマネージャから起動します。（☛P3-12）

※ WWW ブラウザから起動します。（☛P3-13）

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

※管理者パスワードの初期値は空欄です。

※ユーザー名（管理者 ID）とパスワードは変更できます。（☛P3-32）

3 [MAC アドレスフィルタ設定] をクリックする

4 [エントリ追加] をクリックする



5 【MACアドレスフィルタエントリー追加】で次のように登録する

- ① 指定方法を選択する
 手動指定：MACアドレスに直接無線接続を許可する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを入力します。
 選択指定：MACアドレス（アクセス履歴）から選択し登録をします。
- ② 手動指定の場合は、登録する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを入力するMACアドレスは2文字ずつコロン（:）で区切って入力してください。
 例）MACアドレスがXX-XX-XX-XX-XX-XXの場合は、XX:XX:XX:XX:XX:XXと入力します。
 無線LAN端末（子機）のMACアドレスは無線LAN端末（子機）に記載されています。
 選択指定の場合は、「アクセス履歴」の▼をクリックして登録する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを選択します。
- ③ [追加] をクリックする



6 【フィルタエントリー設定】のリストに使用する無線LAN端末（子機）のMACアドレスが正しく登録されていることを確認して手順7に進む

注意：MACアドレスフィルタ設定を「有効にする」ときは、エントリー番号のチェックボックスにはチェックを入れない（）でください。
 このチェックボックスは、フィルタエントリー設定リストから「登録したエントリーを削除」する場合のみチェックを入れます（）。
 エントリーを削除したい場合は、エントリー番号のチェックボックスにチェックを入れて（）、[選択したエントリーを削除] をクリックしてください。

7 【MACアドレスフィルタ設定】で【有効にする】をクリックする



（次ページに続く）

8 [OK] をクリックする



9 [再起動] をクリックする
MAC アドレスフィルタの設定を変更した場合は、再起動後に有効になります。

! WL54TE を無線 LAN 端末 (子機) として使用している場合

無線 LAN アクセスポイント (親機) で MAC アドレスによる接続制限を行う場合 (MAC アドレスフィルタリング)、通常は無線 LAN 端末 (子機) の MAC アドレスを登録することで無線接続する無線 LAN 端末 (子機) を制限できます。ただし、WL54TE を無線 LAN 端末 (子機) として接続するときは、WL54TE の MAC アドレスだけでなく、WL54TE に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスも登録してください。

また、WL54TE に接続する端末が複数台ある場合は、すべての端末の MAC アドレスを登録してください。

→ WL54TE では、接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、WL54TE に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。

また、MAC アドレスフィルタに登録済みの端末が最初にアクセスすると、MAC アドレスフィルタに未登録の端末でも無線接続できてしまいます。

さらに、WL54TE の MAC アドレスを登録していない場合、WL54TE からすべての端末を外したときに AIR ランプが消灯します。

無線暗号化を設定する

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を本商品と無線 LAN 端末（子機）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、本商品と無線 LAN 端末（子機）との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

ここでは本商品側の設定を説明しています。サテライトマネージャを利用して本商品と無線 LAN 端末（子機）の設定を行うこともできます。（●P4-12）

<暗号化方式について>

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)**
IEEE802.11 で定められた暗号化方式。
設定した暗号化キーが一致した場合のみ通信できるようになります。
- **TKIP (Temporal Key integrity Protocol)**
Wi-Fi Alliance の新セキュリティプロトコル (WPA) に採用の暗号化方式。
パケットごとに暗号化キー (WEP) を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。
- **AES (Advanced Encryption Standard)**
米商務省技術標準局 (NIST) が選定した次世代の暗号化方式。
WEP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず本商品と無線 LAN 端末（子機）で同じ設定にしてください。（●P3-26、P4-14、P4-21）
- 暗号化キーは無線アクセスポイント 1 つにつき 1 つだけ使用します。複数の無線 LAN 端末（子機）を使用する場合、すべての無線 LAN 端末（子機）に無線アクセスポイントと同じ暗号化キーを設定してください。
工場出荷時および初期値の暗号化キーは 1 番に設定されています。
- 1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した無線 LAN 端末（子機）が必要です。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）で「WPA-TKIP モード」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続される場合があります。

暗号化の設定（無線LANアクセスポイント（親機））

- 1 クイック設定 Web を起動する
※ Ethernet ポックスマネージャから起動します。（☛P3-12）
※ WWW ブラウザから起動します。（☛P3-13）
- 2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
※管理者パスワードの初期値は空欄です。
※ユーザー名（管理者ID）とパスワードは変更できます。（☛P3-32）

3 [暗号化設定] をクリックする

4 [暗号化] の項目で設定する

- ※WL5400APにはWEPの暗号化キー1番が設定済みになっています。ただし、初期化した場合は設定がクリアされますので、「無線LAN設定ラベル」（本体底面に貼付のラベル）の暗号化キーに設定し直してください。



■暗号化モードでWEPを使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する
- ② 暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」(弱) < 「128bit」 < 「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。
- ③ [指定方法] から暗号化キーの種類を [英数字] または [16進数] のどちらかを選択する
※ [英数字] → 英数字 (0～9, a～z, A～Z) の組み合わせで暗号を作成します。
[16進] → 16進 (0～9, a～f, A～F) の組み合わせで暗号を作成します。
※ 指定した暗号化強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。
- ④ [使用する暗号化キー番号] を [暗号化キー1番～4番] で選択する
- ⑤ 指定した番号 (1番～4番) に③で指定した方法で任意の暗号を入力する
※ **152bitWEPを使用する場合**
無線LAN端末（子機）を使用するパソコンがWindows® XPの場合、サテライトマネージャで設定する必要があります。（☛P4-12）

■暗号化モードでWPA【推奨】を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WPA] を選択する
- ② [暗号化方式] で [PSK (TKIP)]、または [PSK (AES)] を選択する
- ③ [WPA 暗号化キー] を入力する
暗号化キーは、8～63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

- ・ 8～63桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(.	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

- ・ 64桁の場合

16進数【0～9、a～f、A～F】

- ④ [暗号化キー更新間隔] で暗号化の更新時間を入力する
更新時間は、1～99分の間で設定できます。

5 **【設定】をクリックする**

6 **【OK】をクリックする**

7 **【再起動】をクリックする**

本商品が再起動します。（暗号化キーを設定していない無線LAN端末（子機）から接続できなくなります。無線LAN端末（子機）の暗号化の設定を行ってください。）

3-5 クイック設定 Web の設定画面について

本商品の設定はクイック Web にて行います。ここではクイック設定 Web のそれぞれの設定画面について説明しています。

クイック設定 Web の起動のしかたは、下記を参照してください。

- ・ Ethernet ボックスマネージャから起動する (●P3-12)
- ・ WWW ブラウザから起動する場合 (●P3-13)

※ゲーム機で設定する場合は「ゲーム機 PlayStation®2 用「PlayStation BB Navigator」で設定する場合」(●P3-15)を参照してください。

※お使いの WWW ブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。

! 設定の登録のしかた

それぞれのページで [設定] をクリックしたあと、[再起動] をクリックして、本商品を再起動することにより設定内容を本商品に書き込みます。

📢 お知らせ

● Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合、WWW ブラウザでの設定が反映されないことがあります。その場合には、以下の手順でキャッシュの設定を行ってください。

- ① Internet Explorer を起動し、メニューバーの [Explorer] - [環境設定] をクリックします。
- ② [Web ブラウザ] の [詳細設定] をクリックします。
- ③ [キャッシュ] - [ページの更新] を [常に] にチェックします。
- ④ [OK] をクリックします。



設定項目について

ここではそれぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。
設定の変更が必要な場合は、それぞれの画面で設定を行ってください。

【基本設定】

■無線 LAN 基本設定

接続ネットワーク名 (ESS-ID) や、通信モードを設定します。
詳細については、P3-17 を参照してください。

■暗号化設定

暗号化の設定をします。
詳細については、P3-26 を参照してください。

【詳細設定】

■無線 LAN 詳細設定



無線 LAN 高速化設定：Super AG を使用して無線の実効スループット（速度）を高速化する場合に設定します。（初期値：使用する（圧縮あり））
「使用する（圧縮あり）」、「使用する（圧縮なし）」、「使用しない」から選択します。



お知らせ

- 「使用する（圧縮あり）」を指定すると、さらに通信速度は向上しますが、圧縮効率の悪いファイルの転送時などでは、かえって速度が低下してしまう場合があります。

■ネットワークの設定



現在のネットワークの状態 : 本商品の現在の「IP アドレス」「サブネットマスク」を表示しています。

ネットワークの設定

装置 IP アドレスの設定方法 : 本商品の IP アドレスを、ブロードバンドモデムなどの DHCP サーバから自動的に取得するか、手動で設定するかを選択します。

手動設定 : IP アドレス、サブネットマスクを手動で設定する場合に入力します。

■MAC アドレスフィルタ設定

MAC アドレスフィルタの設定をします。

詳細については、P3-22 を参照してください。

【メンテナンス】

■管理者 ID の設定



- 管理者 ID : 管理者名（ユーザー名）を変更できます。（初期値：admin）
- パスワード : 管理者パスワード（パスワード）を設定できます。
（初期値：空欄）
使用できる文字は英数半角文字と半角記号で最大 15 文字まで設定できます。

■設定値の初期化



- 装置の初期化 : [装置の初期化] をクリックして [OK] をクリックすると本商品の設定が初期値（●P5-12）に戻ります。

📢 お知らせ

- 初期化すると出荷時の設定（ESS-ID、暗号化など）がクリアされ、初期値（●P5-12）に戻ります。

■ファームウェア更新

次の手順で、本商品のバージョンアップができます。



- 1 最新のファームウェアをサポートページからダウンロードする
ファイルが圧縮されている場合は、解凍します。
- 2 [参照] をクリックする
- 3 ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する
- 4 [更新] をクリックする
- 5 [OK] をクリックする
- 6 [OK] をクリックする

4

無線 LAN 端末（子機）の設定をする

4

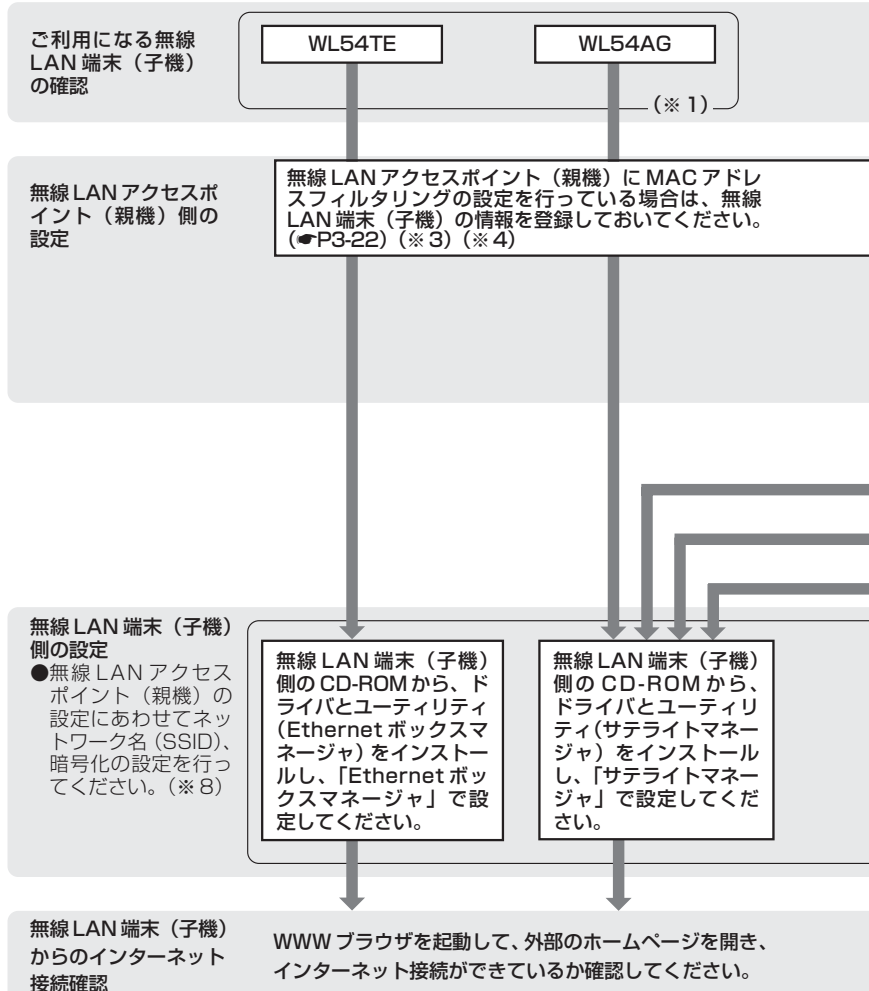
- 4-1 無線 LAN 端末（子機）からの通信を確立する
.....4-2
- 4-2 WL54AG（無線 LAN カード）の設定を
する場合<サテライトマネージャ>
.....4-12

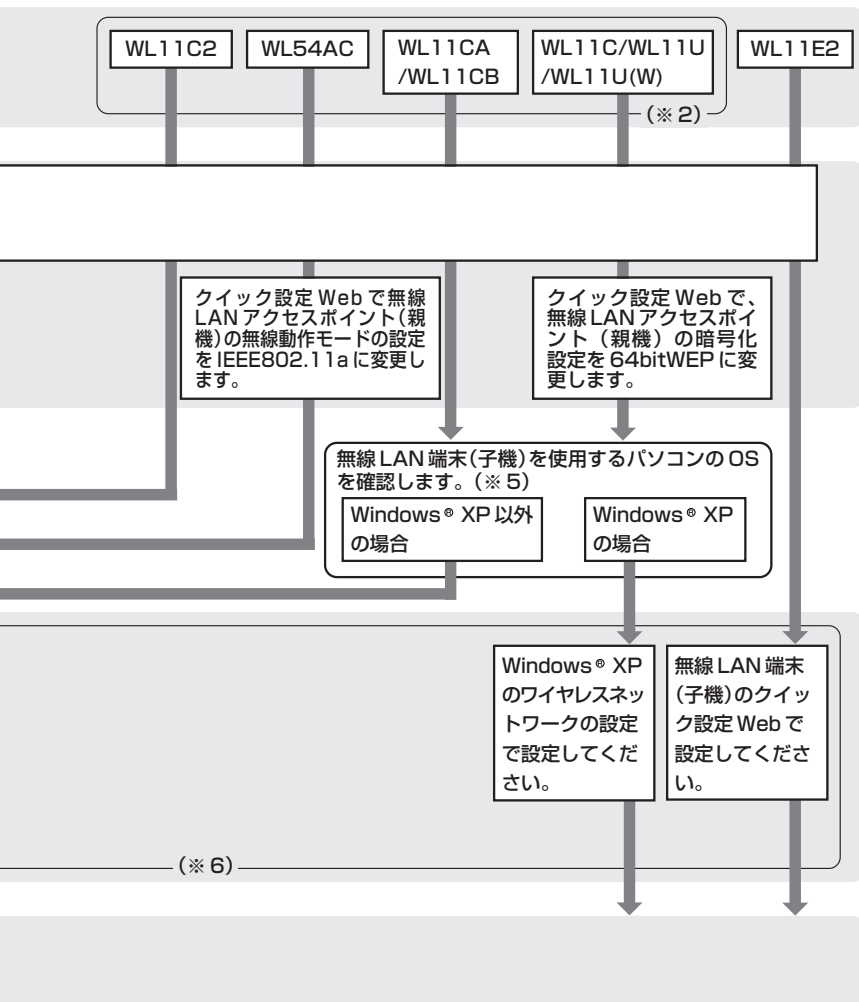
無線 LAN 端末 (子機) からの通信を 確立する

無線 LAN 端末 (子機) から本商品に無線 LAN 接続するには、以下のような手順で行います。なお、(※ 1) ~ (※ 8) については、P4-5 を参照してください。

Aterm シリーズの無線 LAN 端末 (子機) の場合

※ Aterm シリーズ以外の無線 LAN 端末 (子機) の場合は、P4-4 へお進みください。





4

無線 LAN 端末（子機）の設定をする

Aterm シリーズ以外の無線 LAN 端末（子機）の場合

ご利用になる無線 LAN 端末（子機）の確認

Aterm シリーズ以外の無線 LAN 端末（子機）

無線 LAN 内蔵パソコン

無線 LAN 端末（子機）側に添付の専用ドライバとユーティリティをインストールしてください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定

無線 LAN アクセスポイント（親機）に MAC アドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線 LAN 端末（子機）の情報を登録しておいてください。「MAC アドレスセキュリティ機能」（●P3-22）（※7）

無線 LAN 端末（子機）が、無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ無線動作モード、暗号化モードをサポートしていない場合は、クイック設定 Web で無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更してください。無線 LAN アクセスポイント（親機）の初期値については P5-12 を参照してください。

無線 LAN 端末（子機）側の設定

●無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定にあわせてネットワーク名（SSID）、暗号化の設定を行ってください。（※8）

Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定または、無線 LAN 端末（子機）側に添付の専用ユーティリティで設定してください。

P4-6 を参照して設定を行ってください。

無線 LAN 端末（子機）からのインターネット接続確認

WWW ブラウザを起動して、外部のホームページを開き、インターネット接続ができているか確認してください。

4-1 無線LAN端末（子機）からの通信を確立する

- ※ 1 WL54AG、WL54TEを追加で無線LANアクセスポイント（親機）に接続する場合は本商品に添付のCD-ROMを使用して設定してください。
- ※ 2 設定の際に現在無線LAN端末（子機）側で使用している設定ツール（サテライトマネージャ等）とドライバが必要です。アンインストール（削除）はしないでください。いったん削除してしまった場合は、ホームページAtermStationにて最新版をインストールすることができます。
- ※ 3 すでにインターネット接続が可能な場合、MACアドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。
- ※ 4 WL54TE、WL11E2（ETHERNETボックス）の場合はWL54TE、WL11E2（ETHERNETボックス）に接続しているパソコンなどの端末のMACアドレスも登録してください。
- ※ 5 使用できるOSは接続する無線LAN端末（子機）によって異なります。
- ※ 6 無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名は無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ラベル」がない場合のネットワーク名は「WARPSTAR - XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。
- ※ 7 すでにインターネット接続が可能な場合、MACアドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。
- ※ 8 無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名は無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ラベル」がない場合のネットワーク名は「WARPSTAR - XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

4 無線LAN端末（子機）の設定をする



お知らせ

- 本商品の工場出荷時の設定値については「本商品の初期値」（P5-12）を参照してください。

無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

無線 LAN 内蔵パソコンから本商品にワイヤレスで接続してブロードバンドインターネット接続することができます。

お願い

- 設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンや OS によって異なります。設定方法の詳細については、パソコン等のメーカーにお問い合わせください。
- パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプによっては、本商品の無線動作モードをあらかじめ変更する必要があります。クイック設定 Web で変更します。(P3-17)
 - ・ IEEE802.11b、IEEE802.11g の無線規格に対応している場合
 - 802.11g+b モード (初期値)
 - ・ IEEE802.11a の無線規格に対応している場合
 - 802.11a モード

無線 LAN 内蔵パソコンの設定

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンと本商品との無線通信を確立する設定を行います。

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。ここでは、Windows® XP の場合を例に説明しています。

※ AirMac 対応のパソコンで接続する場合は P4-9 を参照してください。

- 1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯していることを確認する
※点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
ON/OFF のしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 2 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [ネットワーク接続] をクリックする
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする
「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「ワイヤレスネットワーク」タブをクリックする

- ①「Windows® を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する
- ②「最新の情報に更新」をクリックし、「利用できるネットワーク一覧」から接続する本商品「WARPSTAR-XXXXXX」をクリックし、「構成」をクリックする「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。

※本商品の工場出荷時のネットワーク名は、本体底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。



Windows® XP Service Pack2 の場合は次の手順で接続します。

- ①「ワイヤレスネットワークの表示」をクリックする
- ②ワイヤレスネットワークの選択画面で接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名「WARPSTAR-XXXXXX」を選択し、「接続」をクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化の設定をしている場合の無線LAN内蔵パソコンでの設定方法はP4-21を参照してください。



お知らせ

- 一覧を更新しても本商品のネットワーク名が表示されない場合は、一度本商品の電源を切り、再び電源を入れた後で、本商品前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度「最新の情報に更新」をクリックしてください。
- ESS-IDステルス機能が有効となっている場合は、「利用できるネットワーク一覧」に本商品のネットワーク名が表示されません。ESS-IDステルス機能は無効にご利用ください。

(次ページに続く)

5 ネットワーク名 (SSID) と暗号化設定を確認して [OK] をクリックする

本商品は出荷時では暗号化が設定されています。

[データの暗号化] をチェック (☑) し、[キーは自動的に提供される] のチェックを外して、[ネットワークキー] に本商品の底面に記載されている暗号化キーの英数字を入力してください。



お知らせ

- セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを防止することができます。
- セキュリティの設定を行う場合、本商品で暗号化キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に本商品と同じ暗号化キーを入力してください。本商品の暗号化キーの設定方法、確認方法については、「暗号化の設定（無線LANアクセスポイント（親機）」）(●P3-26) を参照してください。ただし、本商品の暗号化の設定が 152bitWEP や AES、TKIP を使用している場合は、接続できません。
- キーのインデックス（詳細）を本商品で設定されている番号に合わせてください。ただし、Windows® XP Service Pack 1 適用前の場合は、キーのインデックス（詳細）が 0～3 と表示されますので、1～4 と読み替えてください。（数字が 1 つずれていますので注意してください。）

6 [OK] ボタンをクリックする

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

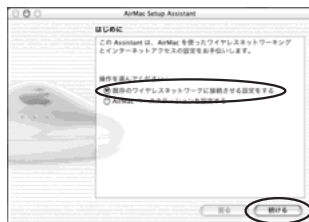


AirMac 対応のパソコンで接続する場合

画面表示は Mac OS のバージョン等により、変わることがあります。
ここでは Mac OS X (v10.1) の場合を例に説明しています。

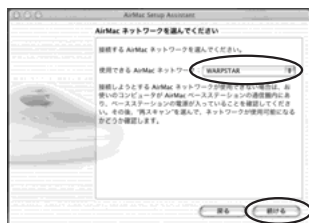
1 「AirMac Setup Assistant」を起動する
AirMac ソフトウェアのバージョンアップによっては、「AirPort Setup Assistant」と表示される場合があります。

2 「既存のワイヤレスネットワークに接続させる設定をする」を選択し、「続ける」をクリックする



3 「使用できる AirMac ネットワーク」で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名を選択し、「続ける」をクリックする

※工場出荷時のネットワーク名は、「無線 LAN 設定ラベル」（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。
ただし、初期化した場合は初期値の [WARPSTAR-XXXXXX] (XXXXXX は本商品の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁) になります。



お知らせ

- ESS-ID ステルス機能が有効となっている場合は、「使用できる AirMac ネットワーク」に無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名が表示されません。ESS-ID ステルス機能は無効にしてお使いください。

4

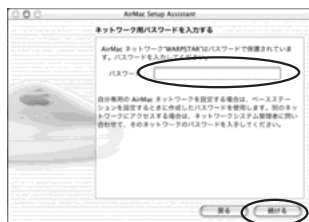
無線 LAN 端末（子機）の設定をする

(次ページに続く)

4 「パスワード」に、本商品の底面に記載されている暗号化キーの英数字を入力し、[続ける]をクリックする

※ 本商品を初期化した場合は表示されません。

※ ここで入力するパスワードは、[クイック設定 Web] - [無線 LAN 設定] - [暗号化キー] の「暗号化キー」で確認できます。



5 [続ける] をクリックする



6 [終了] をクリックする





お知らせ

- Mac OS 9.2.1 のバージョンをご使用の場合は、次の手順で設定します。
 - ① AirMac に接続した Macintosh を起動する
 - ② [メニューバー/アップルメニュー] から [AirMac] を選択する
AirMac の設定ツールが起動します。
 - ③ [AirMac ネットワーク] の [ネットワークの選択] 欄のプルダウンメニューから、本商品を選択する
※工場出荷時のネットワーク名は、「無線 LAN 設定ラベル」（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。
ただし、初期化した場合は初期値の [WARPSTAR-XXXXXX（XXXXXX は、本商品の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）] になります。
- ネットワークの選択リストに本商品のネットワークがない場合は、本商品の電源を切り、再度電源を入れ直して、20 ～ 30 秒待ってから再度、プルダウンメニューをクリックしてください。（電源は、10 秒ほど待ってから、入れ直してください。）

WL54AG(無線LANカード)の設定 をする場合<サテライトマネージャ>

WL54AG(無線LANカード)の無線通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線LANの暗号化設定はサテライトマネージャで行います。

サテライトマネージャは添付のCD-ROM(ユーティリティ集)からインストールできます。

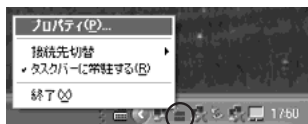
インストール方法は「Ethernetボックスマネージャをインストールする」(P3-9)を参照してください。

サテライトマネージャの使い方

サテライトマネージャを起動する

1 [スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTARユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする

2 通知領域(タスクトレイ)の[サテライトマネージャ]のアイコンを右クリックする



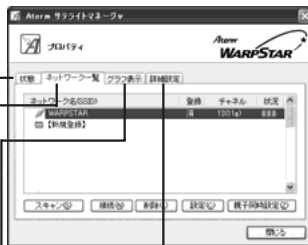
3 [プロパティ] を選択すると、サテライトマネージャの設定画面が表示される

状態
接続中の無線通信の状態を表示します。

ネットワーク一覧
利用できる親機(アクセスポイント)の一覧を表示し、無線接続のための設定や接続切り替えができます。

グラフ表示
接続中の無線通信の通信速度や、通信強度(信号強度)をグラフで表示します。

詳細設定
無線機能のON/OFF設定やサテライトマネージャから設定するか、Windows®XPのワイヤレスネットワーク設定から設定するかの切り替えを行います。

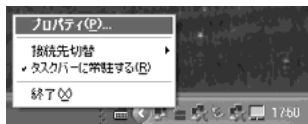


サテライトマネージャで設定する

- 1 サテライトマネージャを起動する
 [スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする

通知領域 (タスクトレイ) に [サテライトマネージャ] が表示されます。

- 2 通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する



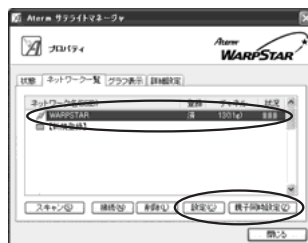
- 3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする

- 4 接続先のネットワーク名をクリックして、[設定] または [親子同時設定] をクリックする

※ 工場出荷時のネットワーク名は、「無線LAN 設定ラベル」(本商品底面に貼付のラベル) に記載されています。

ただし、初期化した場合は初期値の [WARPSTAR-XXXXXX (XXXXXX は、本商品側面に記載されている MAC アドレスの下6桁)] になります。

新しく接続先を登録する場合は、[新規登録] をクリックしてください。



無線 LAN の設定を行う

※出荷時に本商品に暗号化の設定がされています。本商品底面のラベルに従って設定してください。

■無線 LAN アクセスポイント（親機）も同時に設定する場合

手順 4 で [親子同時設定] をクリックした場合は次のように設定します。

【ネットワーク名】

使用するネットワークの名称を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

【無線動作モード】

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

【チャンネル番号】

無線 LAN アクセスポイント（親機）と通信するチャンネルを選択します。

【暗号化モード】

●暗号化モードで WEP を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する
- ② 暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」(弱) < 「128bit」 < 「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。

③暗号化キーを入力する

英数字は 0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z で構成されている文字列を指定できます。16 進は 0 ~ 9、a ~ f、A ~ F で構成されている文字列を指定できます。

●暗号化モードで [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を選択する
- ②無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定した暗号化キーを入力する
暗号化キーは、8 ~ 63 桁の英数字記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。



無線モードの選び方

- 802.11a ……電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。
- 802.11g ……802.11a よりも広い範囲で高速な通信が可能です。
- 802.11g+b ……802.11b しか対応していない無線 LAN 端末（子機）との混在環境での利用に適しています。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

- ・ 8～63桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	~

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

- ・ 64桁の場合

16進数【0～9、a～f、A～F】



接続する無線LANアクセスポイント(親機)に暗号化設定がされている場合は、次の画面が表示されます。無線LANアクセスポイント(親機)の設定に合わせて暗号化の設定を行い、[接続]をクリックしてください。



■無線LAN端末(子機)のみ設定する場合

手順4で「設定」をクリックした場合は、使用する無線LANアクセスポイント(親機)にあわせて次のように設定します。

※暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント(親機)側を先に設定してください。

【ネットワーク名】

無線LANアクセスポイント(親機)の設定にあわせてネットワーク名を入力します。手順4で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

【通信モード】

インフラストラクチャ通信(アクセスポイント通信)を選択します。



【暗号化モード】

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定にあわせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

6

【登録】をクリックする

お願い

- 同じネットワーク名（ESS-ID）を設定した複数の無線 LAN アクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの [ネットワーク一覧] のチャンネル表示が [状態] の表示と異なる場合があります。[状態] 表示の値を参照してください。
- 2 台目以降の無線 LAN 端末（子機）を追加する場合は、1 台目と同じ暗号化キーを入力してください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）で「WPA-TKIP モード」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できます。

**お知らせ**

- 【詳細設定】タブをクリックすると、【詳細設定】で次の設定が行えます。

**省電力モード**

ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

送信出力

他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

ストリーミングモード

無線通信状態を監視するために無線LAN端末(子機)が行っている、無線LANネットワークの参照(スキャン)動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

**サテライトマネージャの使い方**

通知領域(タスクトレイ)にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

【プロパティ】：

通信モードの設定、暗号化をすることができます。

【状態】タブで無線LANアクセスポイント(親機)との接続状態を詳細に確認することができます。

無線の通信状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

【接続先切替】：

サテライトマネージャで設定した接続先無線LANアクセスポイント(親機)を切り替えて使用できます。

【タスクバーに常駐する】：

【タスクバーに常駐する】にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

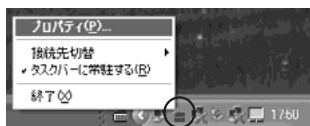
【終了】：




サテライトマネージャを終了します。

無線LANアクセスポイント（親機）との接続状態を確認する





サテライトマネージャを起動すると、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態を確認することができます。

- 1 通知領域（タスクトレイ）の「サテライトマネージャ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択する



-  無線LAN端末（子機）が正しく接続されていません。
-  無線LANアクセスポイント（親機）が見つかりません。
-  無線LANアクセスポイント（親機）が正しく検出できています。

無線LANアクセスポイント（親機）との電波の状態は次のとおりです。

- | | |
|---|---|
|  青3本 |  黄2本 |
| <input type="button" value="強い"/> | <input type="button" value="弱い"/> |
|  青2本 |  赤1本 |
| <input type="button" value="普通"/> | <input type="button" value="限界"/> |

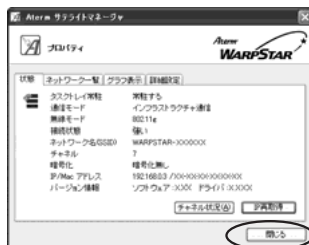
- 2 【状態】タブをクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態が表示されます。



3 通信状態を確認し、[閉じる]をクリックする

無線の通信状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。



■サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

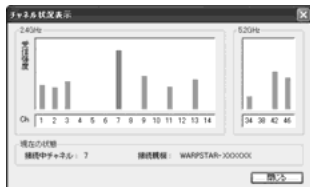
通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。



【状態】 - 【チャンネル状況】

近くの無線LANアクセスポイント(親機)が、どのチャンネルで使われているかを表示します。同じ無線チャンネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。空いているチャンネルをチェックすることができます。

現在、接続中のチャンネルは赤で表示されます。



Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で設定を行うには

Windows® XPの場合は、無線LAN端末（子機）の設定をWindows® XPに内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。

ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、WEP（152bit）、TKIP、AES、ESS-ID ステルス機能（SSIDの隠蔽）は、ご利用になれません。暗号化無効またはWEP（64bit、128bit）のみご利用いただけます。通常はWindows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にして、サテライトマネージャで設定してください。

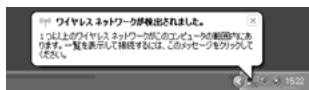
- 暗号化設定されている無線LANアクセスポイント（親機）に接続する場合
（☛P4-21）
- 暗号化設定されていない無線LANアクセスポイント（親機）に接続する場合
（☛P4-26）

暗号化を設定して無線LANアクセスポイント(親機)に接続する(無線LANアクセスポイント(親機)が暗号化設定されているとき)

以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して 64bitWEP/128bitWEP をご利用になる場合の説明です。無線LANアクセスポイント(親機)に 152bitWEP、TKIP、AES が設定されている場合、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止してサテライトマネージャで設定を行う必要があります。

※暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント(親機)側を先に設定してください。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される



- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

Windows® XP Service Pack 1 適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

- 3 接続する無線LANアクセスポイント(親機)のネットワーク名を選択する

※工場出荷時のネットワーク名は、本商品底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。

※使用する無線LANアクセスポイント(親機)のネットワーク名が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント(親機)の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。



※画面は Windows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。Windows® のアップデート状況により画面が異なります。

お願い

- [このネットワークでIEEE802.1xを有効にする] の は必ず外してください。

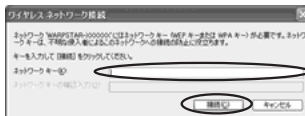


※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

4 Windows® XP Service Pack2 の場合は [接続] をクリックする
Windows® XP Service Pack2 適用前の場合は、そのまま手順 5へ進みます。

5 無線 LAN アクセスポイント (親機) の暗号化キー番号が 1 番の場合、
[ネットワークキー] に暗号化キーを入力し、[接続] をクリックする

※キー番号に 2 番～4 番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は、[キャンセル] をクリックして手順 6に進みます。

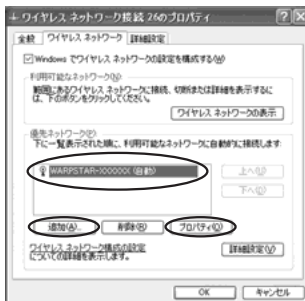


6 [詳細設定の変更] をクリックする

Windows® XP Service Pack 2 適用前の場合は、[詳細設定] をクリックします。

7 [ワイヤレスネットワーク] タブをクリックして、接続する無線 LAN アクセスポイント (親機) のネットワーク名をクリックし、[プロパティ] をクリックする

接続する無線 LAN アクセスポイント (親機) のネットワーク名が [優先ネットワーク] (Windows® XP Service Pack2 適用前の場合は [優先するネットワーク]) 欄に表示されていない場合は、[追加] をクリックします。



8

表示される画面にあわせて暗号化の設定を行う

■ Windows® XP Service Pack2 の場合

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する

②[データの暗号化]で[WEP]を選択する

③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字/16進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

- ・ASCII文字の場合：英数字5文字、または13文字で指定(13文字は無線LANアクセスポイント(親機)に128bitWEPを設定している場合のみ)

- ・16進数の場合：0~9・A~Fで10文字、または26文字で指定(26文字は無線LANアクセスポイント(親機)に128bitWEPを設定している場合のみ)

⑤無線LANアクセスポイント(親機)の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のままご利用ください。

⑥[OK]をクリックする



■ Windows® XP Service Pack 1 の場合

① [データの暗号化] にチェックする

（画面に [ネットワークアソシエーション] ・ [データの暗号化] の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」 ・ [WEP] を選択する）

② [キーは自動的に提供される] のチェックを外す

③ [ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する

ASCII 文字/16 進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：英数字 5 文字、または 13 文字で指定（13 文字は無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bit WEP を設定している場合のみ）

・ 16 進数の場合：0～9 ・ A～F で 10 文字、または 26 文字で指定（26 文字は無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bit WEP を設定している場合のみ）

④ 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のままで利用ください。

⑤ [OK] をクリックする



※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

■ Windows® XP Service Pack1 適用前 の場合

- ① [データの暗号化] にチェックする
- ② [キーは自動的に提供される] のチェックを外す
- ③ [ネットワークキー] は、無線LANアクセスポイント (親機) に入力した暗号化キーを入力する

キーの形式：

無線LANアクセスポイント (親機) で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。

無線LANアクセスポイント (親機) で「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

キーの長さ：

無線LANアクセスポイント (親機) で「暗号化強度」を標準 (64bit) と設定した場合は、40bitを選択してください。

無線LANアクセスポイント (親機) で「暗号化強度」を拡張 (128bit) と設定した場合は、104bitを選択してください。

キーのインデックス：

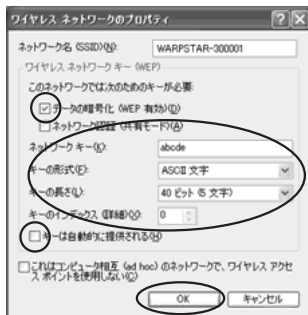
特に使いません。

0～3がありますが、0のままご使用ください。

(1～3に別の暗号化キーを登録しておき、[キーのインデックス] を切り替えて、別の暗号化キーを使うことができます。)

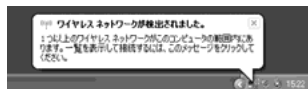
※無線LANアクセスポイント (親機) 側は、クイック設定Webの [無線LAN側設定] - [暗号化 (WEP)] で使用する暗号化キーを確認してください。

- ④ [OK] をクリックする



無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する（無線 LAN アクセスポイント（親機）が暗号化設定されていないとき）

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される



※画面は Windows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。

- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

Windows® XP Service Pack 1 適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

- 3 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を選択する

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名は、本商品の底面に貼ってある「無線 LAN 設定ラベル」に記載されています。

※[利用できるネットワーク] に使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、本商品の電源を入れ直し、手順 1 からやり直してください。



無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする

2 [状態] をクリックし、[全般] タブで確認する

3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・[状態] は「接続」になっていること
- ・[速度] が表示されていること
(表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。SuperAG機能を利用している場合は、108Mbpsと表示されます。)



※画面は Windows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。



5

お困りのときには

- 5-1 トラブルシューティング5-2
- 5-2 初期化する5-11

5

5-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し（●P5-11）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が初期値（●P5-12）に戻りますのでご注意ください。

設置に関するトラブル

症 状		原因と対策
電源を入れたとき	POWER ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ● ACアダプタ（電源プラグ）が外れている → ACアダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ● ACアダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると本商品に供給されている電源も切れてしまいます。 ● ACアダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。
WWW ブラウザの設定画面が表示されない		● パソコンのIPアドレスが正しく設定されているか確認してください。（●P3-3） すでに本商品が、無線LAN等によりDHCPサーバの存在するネットワークに接続されている場合は、本商品のIPアドレスがDHCPにより変わってしまっている可能性があります。この場合は、ネットワーク内のDHCPサーバ（ルータやADSLモデム等）の電源を切り、本商品を再起動したうえで設定をしてください。DHCPサーバがない状態で本商品を再起動すると本商品のIPアドレスは工場出荷時の設定（192.168.0.204）に戻ります。
本商品が正常に動作しないが、原因がわからない		● 設定に誤りがある場合があります。 ※ どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。（●P5-11）

通信に関するトラブル

症 状	原因と対策
通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● いったん、本商品の AC アダプタを電源コンセントから抜き、接続されているパソコンを終了させて、①本商品→②接続されているパソコンの順に電源を入れ直してください。 ● ご使用の無線のネットワーク内で使用できる無線 LAN 端末（子機）は 10 台までです。10 台以下でご使用ください。 ● 暗号化の設定が一致していない。 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）間で一致しているか、確認してください。 なお、初期化した場合は、暗号化設定は初期値（☛P5-12「本商品の初期値」）に変わりますので、本商品底面の「無線 LAN 設定ラベル」に合わせて、再設定を行ってください。（☛P4-13「サテライトマネージャで設定する」） ● 本商品の設定が正しく行われていることを確認してください。（☛P3-17） ● パソコンの IP アドレスがブロードバンドモデムなどから取得できていない。（IP アドレスを自動取得に設定している場合） →IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーをお使いのネットワーク環境に合わせて設定してください。設定は、P3-3 ①～③の手順で表示される [インターネットプロトコル (TCP/IP)] の [プロパティ] (Windows® XP の場合) で行ってください。

無線 LAN 端末（子機）に関するトラブル

症 状	原因と対策
ネットワーク名を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品の ETHERNET ポートに接続したパソコン（有線 LAN）から、クイック設定 Web の [無線 LAN 基本設定] で確認してください。 ● サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして本商品を検索してください。ネットワーク名とアクセスポイント名で本体を識別できます。
データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の [無線 LAN 基本設定] で確認してください。
本商品に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品の電源が入っているか、確認してください。 ● 本商品との距離が離れすぎているか、確認してください。 ● 無線 LAN 端末（子機）のランプのつき方を確認してください。 消灯している場合は、無線 LAN 端末（子機）が本商品を正しく認識していません。本商品との通信の設定をやり直してください。 ● 無線 LAN 端末（子機）に WL54AG（無線 LAN カード）を使用している場合は、サテライトマネージャの [ネットワーク一覧] で、チェックの入っている接続先を選び直してみてください。 ● ネットワーク名（ESS-ID）があるか、確認してください。 本商品の設定値は、クイック設定 Web の [無線 LAN 基本設定] で確認できます。 ※工場出荷時のネットワーク名は、「無線 LAN 設定ラベル」（本商品底面に貼付のラベル）に記載されています。 ただし、初期化した場合は初期値の [WARPSTAR-XXXXXX (XXXXXX) は、本商品の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁] になります。 ● 近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。

症 状	原因と対策
<p>本商品に接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 暗号化設定（暗号化方式、強度、暗号化キー）があつていることを確認してください。暗号化キーは、大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線LANカードによっては暗号化強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 (例) 暗号化強度 WEP64bit → 40bit WEP128bit → 104bit 暗号化キー Windows® XPのワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」 MacintoshのAirMacでは「パスワード」 ● 通信モードがあつているか、確認してください。 本商品との通信は「アクセスポイント通信」（インフラストラクチャ通信）で使用します。 ※ 通信モードは、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ● コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。 ● 無線LAN端末（子機）がWL54AG（無線LANカード）の場合、ドライバが正しくインストールされていない場合があります。次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [(すべての) プログラム] - [WARPSTAR ユーティリティ] - [ドライバアンインストール] をクリックする ② 画面の指示に従ってドライバをインストールする ● 上記の手順でも正しくインストールされていない場合は、次の手順で再インストールしてください。 以下はWL54AG（無線LANカード）の例です。 < Windows® XPの場合 > <ol style="list-style-type: none"> ① 添付のCD-ROM（WARPSTAR ユーティリティ）をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、<input checked="" type="checkbox"/> または [閉じる] をクリックして閉じる ② [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面で [キャンセル] をクリックする ③ [スタート] - [コントロールパネル] をクリックする ④ [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする

症 状	原因と対策
<p>本商品に接続できない</p>	<p>⑤ [システム] アイコンをクリックする</p> <p>⑥ [ハードウェア] タブをクリックする</p> <p>⑦ [デバイスマネージャ] をクリックする</p> <p>⑧ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする</p> <p>⑨ [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する</p> <p>⑩ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする</p> <p>⑪ 次の手順で再インストールを行う</p> <p>a. 「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」を選択し、[次へ] をクリックする。</p> <p>b. 「次の場所で最適のドライバを検索する」と「次の場所を含める」にチェックし、[参照] をクリックする。</p> <p>c. CD-ROM ドライブから [Drv] - [WinXP] を選択し、[OK] をクリックする</p> <p>d. [次へ] をクリックする</p> <p>e. [続行] をクリックする</p> <p>f. インストールが完了したら、[完了] をクリックする</p> <p>⑫ CD-ROM を取り出す</p> <p>⑬ WL54AG (無線 LAN カード) のドライバのインストールを確認する</p> <p>a. [スタート] - [マイコンピュータ] - [システム情報を表示する] をクリックする</p> <p>b. [ハードウェア] タブをクリックする</p> <p>c. [デバイスマネージャ] をクリックする</p> <p>d. [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする</p> <p>e. [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する</p> <p>< Windows® 2000 Professional の場合 ></p> <p>① 添付の CD-ROM (WARPSTAR ユーティリティ) をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、<input checked="" type="checkbox"/> または [閉じる] をクリックして閉じる</p> <p>② [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面で [キャンセル] をクリックする</p> <p>③ [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする</p> <p>④ [システム] アイコンをダブルクリックする</p> <p>⑤ [ハードウェア] タブをクリックする</p> <p>⑥ [デバイスマネージャ] をクリックする</p> <p>⑦ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする</p> <p>⑧ [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する</p> <p>⑨ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする</p>

症 状	原因と対策
<p>本商品に接続できない</p>	<p>⑩ 次の手順で再インストールを行う</p> <ol style="list-style-type: none"> [次へ] をクリックする [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をクリックし、[次へ] をクリックする [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックする [参照] をクリックする CD-ROM 内の「Drv」 - 「Win2000」フォルダを選択し、[開く] をクリックする [OK] をクリックする [次へ] をクリックする 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたときは [はい] をクリックする インストールが完了したら [完了] をクリックする <p>⑪ CD-ROM を取り出す</p> <p>⑫ WL54AG (無線 LAN カード) のドライバのインストールを確認する</p> <ol style="list-style-type: none"> [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする [システム] アイコンをダブルクリックする [ハードウェア] タブをクリックする [デバイスマネージャ] をクリックする [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する <p>< Windows® Me の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 添付の CD-ROM (WARPSTAR ユーティリティ) をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、<input checked="" type="checkbox"/> または [閉じる] をクリックして閉じる [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面で [キャンセル] をクリックする [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする [システム] アイコンをダブルクリックする [デバイスマネージャ] タブをクリックする [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
<p>本商品に接続できない</p>	<p>⑨ 次の手順で再インストールを行う</p> <ol style="list-style-type: none"> [ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)] をクリックし、[次へ] をクリックする 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」と「検索場所の指定」にチェックし、[参照] をクリックする CD-ROM内の「Drv」 - 「WinMe」フォルダを選択し、[OK] をクリックする [次へ] をクリックする [次へ] をクリックする インストールが完了したら [完了] をクリックし、画面の指示に従ってパソコンを再起動する <p>⑩ CD-ROM を取り出す</p> <p>⑪ WL54AG (無線 LAN カード) のドライバのインストールを確認する</p> <ol style="list-style-type: none"> [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする [システム] アイコンをダブルクリックする [デバイスマネージャ] をクリックする [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする [NEC AtermWL54AG (PA-WL/54AG) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する
<p>サテライトマネージャは使える状態 (青表示) になるが本商品に接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント (親機) と暗号化設定 (暗号化方式、強度、暗号化キー) があっていることを確認してください。 暗号化キーは大文字、小文字の区別がありませんので、注意して入力してください。 ● Windows® XP をご利用の場合は、[Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする] 設定になっていることを確認してください。
<p>サテライトマネージャの「ネットワークの参照」で本商品が見つからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波状態により、「ネットワークの参照」で本商品の電波を検出できない場合があります。このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名 (ESS-ID) を入力して検索し直してください。 ● クイック設定 Web の [無線 LAN 基本設定] で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。「新規登録」で直接ネットワーク名 (ESS-ID) を入力するか、ETHERNET ポートに接続したパソコンから「クイック設定 Web」を起動して「ESS-ID ステルス機能」を「使用しない」に変更して「ネットワークの参照」で検索してください。

症 状	原因と対策
サテライトマネージャの「ネットワークの参照」で本商品が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN 端末 (子機) のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ● ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させないと、無線 LAN 端末 (子機) のドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。
本商品と無線 LAN 端末 (子機) の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の届く範囲まで無線 LAN 端末 (子機) を移動したり、本商品と無線 LAN 端末 (子機) の向きを変えたりして電波状態を確認してください。
「パソコン間通信」(アドホック通信)で通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信モードを「パソコン間通信」(アドホック通信) でご使用の場合は、[チャンネル番号] が一致しているか、確認してください。 ● WL54AG (無線 LAN カード) で「パソコン間通信」を行う場合は、[無線動作モード] の「802.11a」または「802.11b」を選択してください。 <p>※ [チャンネル番号]、[無線動作モード] の確認は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、[設定] をクリックして確認します。</p>
Windows® XP の [ワイヤレスネットワーク] の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバレーンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● バレーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。
無線状態が良好なのに、通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定 IP アドレスでお使いの場合は、本商品と無線 LAN 端末 (子機) に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。例：本商品が 192.168.0.204 のとき、無線 LAN 端末 (子機) は 192.168.0.XXX
無線状態が良好なのに、速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くに隣接する無線チャンネルを使っている場合は、無線チャンネルを確認して、別のチャンネルに変更してください。 → ETHERNET ポートに接続したパソコンから「使用チャンネル」の番号を変更してください。「クイック設定 Web」を起動して「無線 LAN 基本設定」の「使用チャンネル」の番号を変更します。 <p>設定値の目安として、無線動作モードが IEEE802.11g、IEEE802.11g+b モードの場合、他の無線設備が使用しているチャンネルから 3 チャンネル以上空けるようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無線動作モード IEEE802.11g+b モードの場合：設定値 1 ~ 13 ・無線動作モード IEEE802.11a モードの場合：設定値 34,38,42,46

症 状	原因と対策
無線状態が良好なのに、速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる場合は、本商品と無線 LAN 端末（子機）を 1m 以上離してください。 また、サテライトマネージャの設定画面で「送信出力」を下げてみてください。ただし、その場合は、遠くにある無線 LAN 端末（子機）から接続しにくくなります。
AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。（●P4-17） ● AV サーバのレートを低品質に下げてください。 ● 無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となる場所に移動させてください。
サテライトマネージャで「親子同時設定」ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN 端末（子機）のパソコンの IP アドレスと本商品の IP アドレスのネットワーク体系が一致していない。 →DHCP サーバ機能を持ったブロードバンドに本商品を接続している場合は、本商品の IP アドレスが自動的に設定されるので、無線 LAN 端末（子機）のパソコンの IP アドレスが自動取得に設定されていないと、本商品を認識できません。P3-3 を参照して、無線 LAN 端末（子機）のパソコンの IP アドレスを自動取得に変更して接続してください。なお、DHCP サーバ機能のないブロードバンドモデムに本商品を接続している場合など、本商品の IP アドレスが工場出荷時設定の「192.168.0.204」になっている場合は、無線 LAN 端末（子機）のパソコンの IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていなければなりません。IP アドレスを変更して接続してください。（●P3-3）

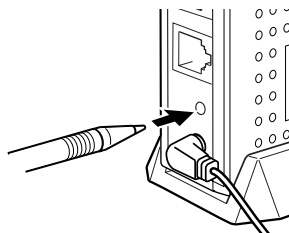
5-2 初期化する

本商品に設定した内容を消去して初期値にします。本商品がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

初期化すると工場出荷時の設定（無線設定、ネットワーク名、暗号化キーの設定）が消去されますので再設定が必要になります。

スイッチで初期化する

- 1 本商品の電源が入っていることを確認する
- 2 本商品の背面にあるリセットスイッチをボールペンの先などで約5秒間押す
AIRランプが橙点灯し、3秒以上でリセットスイッチが有効になります。



- 3 リセットスイッチからボールペンなどをはなす

■ 本商品の初期値

本商品を初期化すると、下表の「初期値」の設定内容になります。

設定項目		工場出荷時の設定値	初期値	
無線設定	通信モード	アクセスポイント 通信モード	アクセスポイント 通信モード	
	無線モード	IEEE802.11g+bモード	IEEE802.11g+bモード	
	ネットワーク名 (SSID)	「無線 LAN 設定ラベル」(本体底面に貼付)に記載	WARPSTAR-XXXXXX (XXXXXXは MAC アドレスの下6桁)	
	使用するチャンネル	7	7	
	暗号化モード	WEP	使用しない	
	暗号強度	128bit	未設定	
	指定方法	英数字 (13桁)	未設定	
	暗号化キー	キー 1	「無線 LAN 設定ラベル」(本体底面に貼付)に記載	未設定
		キー 2	未設定	未設定
キー 3				
キー 4				
使用する暗号化キー	1	1		
無線設定	ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	OFF	OFF	
	MAC アドレスフィルタ設定	OFF	OFF	
IP アドレス	IP アドレス (DHCP 無効時)	192.168.0.204	192.168.0.204	
	ネットマスク (DHCP 無効時)	255.255.255.0	255.255.255.0	
管理者設定	管理者名	admin	admin	
	管理者パスワード	未設定	未設定	



お知らせ

- 無線設定・ネットワーク名・暗号化キーの設定は、本商品底面に貼付のラベルに記載されています。



6

付録

6-1	製品仕様	6-2
-----	------	-----

6-1 製品仕様

■ WL5400AP 仕様一覧

項目		諸元および機能	
WAN インタ フェース	物理インタ フェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T (Auto MDI-X 対応)	
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重 (自動切替)	
LAN インタ フェース	物理インタ フェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T (Auto MDI-X 対応)	
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重 (自動切替)	
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャンネル	5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) / 34/38/42/46ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch
		伝送方式	DSSS (スペクトラム直接拡散) 方式
		伝送速度	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)
	アンテナ	ダイポールアンテナ	
セキュリティ	ESS-ID、WEP(152/128/64bit)、 WPA-PSK (TKIP/AES)		
通信モード	アクセスポイント通信 (インフラストラクチャ通信)		

※ () で表示の速度は規格による速度 (リンクスピード) を示すものであり、実効速度とは異なります。
実効速度は、ご利用環境や接続装置などにより変動します。

項目		諸元および機能	
ヒューマン インタ フェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯
		WAN	ブロードバンド接続ポートリンク確立時点灯、データ送受信時点滅、100BASE-TX時緑点灯、10BASE-T時橙点灯
		LAN	LANポートリンク確立時点灯、データ送受信時点滅、100BASE-TX時緑点灯、10BASE-T時橙点灯
		AIR	IEEE802.11a無線時橙遅い点滅、IEEE802.11b/IEEE802.11g無線時緑遅い点滅、データ送受信時速い点滅、リセットスイッチ押下中およびファームウェアのバージョンアップ中橙点灯
		リセットスイッチ	リセットスイッチ×1
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz (ACアダプタ使用：出力12V、1A)	
消費電力		最大約8W	
外形寸法		約30(W) × 109(D) × 97(H) mm (突起部分を除く)	
質量 (本体のみ)		約0.2kg	
動作環境		温度0～40℃ 湿度10～90% (結露しないこと)	

MEMO

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

お願い

- ・パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ・ADSL など回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合率 100%の再生紙を使用しています。

NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm WL5400AP 無線 LAN ご利用ガイド* 第 6 版

ND-23367 (J) -01
2004年 11月



* N D - 2 3 3 6 7 J - 0 1 K *